

## 第3章 活力とにぎわいのある産業人間都市

ともにめざす目標指標

区分	指標名	後期計画				
		現況	年度	目標	年度	備考
知恵と技術を 創造するまち づくり	農業耕地面積	113.9ha	H22	⇒ 100ha	H28	
	企業立地奨励措置適用 企業数	2件	H22	⇒ 3件	H28	
	認定農業者数	3人	H22	⇒ 4人	H28	
	結崎ネブ力作付面積	1ha	H22	⇒ 2ha	H28	
人と情報が行 き交うにぎわ いのあるまち づくり	近鉄結崎駅の1日当 たりの乗客数	2,300人	H22	⇒ 2,500人	H28	
広域交流の役 割が果たせる まちづくり	川西町ホームページ アクセス数	12万件	H22	⇒ 15万件	H28	

## 1 知恵と技術を創造するまちづくり

### ◆現状と課題

#### <産業>

○本町の産業は、農業、工業、商業などがバランス良く発展してきましたが、工業においては、県内第6位・郡内第1位の製造品出荷額を維持しているものの、生産農業所得の伸び悩み、農業就業人口の減少や高齢化などの課題を抱えています。

また伝統工業においては、本町の中核的な地場産業でもある貝ボタン製造業などへの支援対策が必要です。

○これまで結崎・唐院2カ所で工業団地を開設し、積極的に優良企業を誘致してきました。

しかしながら、産業用地として活用できる土地は限られており、地域の活性化とともに若い世代の雇用を生む優良企業を受け入れていくために計画的に産業用地の整備を進めていく必要があります。

○農業の振興を図るためには、農地の保全と生産基盤整備を進めながら後継者の育成を図るなど、農業が持続的に発展していくための取り組みが必要です。

### 第3章 活力とにぎわいのある産業人間都市

#### ◆事業所・従業員数（平成21年7月1日現在）

	事業所数	従業員数
農業、林業	—	—
漁業	—	—
鉱業、採石業、砂利採取業	—	—
建設業	42	193
製造業	78	2,718
電気・ガス・熱供給・水道業	1	5
情報通信業	1	12
運輸業、郵便業	7	132
卸売・小売業	70	254
金融・保険業	7	64
不動産業、物品賃貸業	10	26
学術研究、専門・技術サービス業	11	39
宿泊業、飲食サービス業	28	102
生活関連サービス業、娯楽業	27	80
医療、福祉	24	218
教育、学習支援業	12	117
複合サービス事業	4	19
サービス業（他に分類されないもの）	37	127
公務（他に分類されるものを除く）	3	81
合計	368	4,187

資料：平成21年経済センサス

#### ◆工業の推移（各年12月31日現在）

	事業所数	従業者数 (人)	製造品出荷額 (万円)
平成18年	34	2,628	8,066,188
平成19年	34	2,579	8,388,503
平成20年	36	2,685	8,542,606
平成21年	34	2,632	6,688,771

資料：工業統計調査

※注：対象は従業員4人以上の事業所

#### ◆農家戸数（2月1日現在）

区分	総戸数	業別内容			経営規模別内容				
		専業	第1種 兼業	第2種 兼業	0.3ha未満	0.3～ 0.5ha	0.5～ 1.0ha	1.0～ 1.5ha	1.5ha以上
平成22年	191	23	20	148	-	72	89	20	10

資料：販売農家の値。農林業センサス

◆農用機械の保有状況（2月1日現在）

区分	動力耕運機 農用トラクター	動力防除機	走行式動力 防除機	動力田植機	動力刈り 取り機 バインダー	コンバイン	米麦用 乾燥機
平成22年	153(164)	-	-	155(157)	-	139(144)	-

資料：2010年世界農林業センサス 経営体数（台数）

※ 記載数値の左側は保有農家数、（ ）内の数値は保有台数

◆農家人口（2月1日現在 単位：人）

年度	農家人口		
	男	女	計
平成22年	309	251	560

資料：2010年世界農林業センサス

◆経営耕地面積（2月1日現在 単位：ha）

	田	畑	樹園地	計
平成22年	127.4	11.9	0.3	139.6

資料：農林業センサス

◆共にめざす目標

○農業後継者や新規就農者、専・兼業農家や農業生産法人などの多様な担い手と生産から加工流通までを視野に入れた多彩な農業活動を支援します。

また、健康志向や無農薬など、消費者の志向に対応するために、化学肥料や農薬の低減を図るとともに、自然循環機能の維持増進による環境と調和した農業を実現しながら農業の持続的発展を促進します。

○次代を担う新しい産業の創出、集積を進めるため、関係機関などとの連携を図りながら、新たな技術・新事業・新産業を創出する総合的な支援のしくみづくりに取り組みます。

○地域の産・官の有機的ネットワークをベースとした戦略的な育成を図ります。また、新

たな企業や研究機関の誘致、新産業の創出や既存産業の創造的な活動を支援する産業支援型サービス業の育成、集積を進めます。

○新たな企業立地を促進するための受け皿となる工業団地やその周辺地域の整備にあたっては、地区の立地条件などの特性を見極め、周辺環境との調和を前提に計画的な整備を進めます。

## ◆施策

### 1 次代を拓く新たな産業の創出

#### (1) 新産業の創出と起業支援

新たな産業創出に向けて、新規事業者への支援対策の充実を図るとともに、中核的な産業支援機関の整備・充実などによる新技術創造支援体制の充実に取り組みます。

#### (2) 新技術の研究開発促進

情報通信や医療・福祉、環境分野などの、本町の次代を担う産業分野における新事業創出を支援します。

### 2 活気ある地域産業の振興

#### (1) 高付加価値型産業の振興

町内の既存企業の技術の高度化を図るとともに、新産業の創出や既存の産業の創造的活動を支援する産業支援型サービス業の育成、集積などの高付加価値型の産業集積を促進します。

#### (2) 挑戦する地域企業の支援

中小企業については、情報通信技術の活用、技術の高度化や人材の育成などによる経営基盤の強化などの支援を進める一方で、新たな事業分野への進出などの起業（ベンチャー）支援の充実によって、地域経済を支える地元企業の活性化を図ります。

#### (3) 地場産業の振興

伝統的地場産業については、商品やデザインの開発力、新規市場開拓力の強化を図り、伝統と革新の融合による個性と魅力の創出などによって、新しい生活文化を彩る産業としての地力を育成します。

### 3 戦略的な産業集積の促進

#### (1) 新たな力を生み出す企業の誘致促進

本町の交通立地の良さや産業振興の歴史など独自の地域性を活かし、新たな力を生み出す新規の企業誘致を積極的に進めます。

#### (2) 立地環境の整備

企業誘致の受け皿となる工業団地やその周辺地域の整備については、道路などの立地条件の向上や周辺環境との調和を考慮した計画的な整備に取り組みます。

### 4 次代を見据えた地域農業の振興

#### (1) 多様な担い手育成をめざす総合農政の推進

個人や法人、営農形態や経営規模に関わらず、多様で多彩な農業が営まれ、農業全体を支え活性化させる構造を形成します。特に、農業の中核的担い手として、農業後継者を中心とした新規就農者の育成と確保に努めます。

#### (2) 優良農地の確保と生産基盤の整備

農業基盤の整備状況や農業生産の状況、農業就業者の状況、将来の営農状況などを検討し、本町農業に必要な優良農地の確保を図るとともに、農道や用排水路などの生産基盤の整備を計画的に進めます。

#### (3) 効率的かつ安定的な農業経営の推進

輸入農産物の増加、国内の産地間競争など、農業生産と流通を取り巻く環境が厳しさを増す中、質の高い魅力ある農産物の生産を進め、安定した持続できる農業経営への取り組みを進めます。

消費者ニーズを積極的に生産や流通に活かし、技術や所得の向上を図ります。そのための農業関係情報の積極的な発信、農産物（結崎ネブカなど）のブランド化や高付加価値化、

産地づくりを推進します。

(4) 自然にやさしい農業の推進

環境問題への関心が高まる中、農薬や化学肥料の低使用、土づくりや有機農業の推進などにより、自然にやさしい環境保全型農業を進めます。特に、土づくり推進対策事業により、堆肥化施設を整備し、良質な堆肥の生産と普及促進を図ります。

(5) 地産地消と消費者との交流の推進

生産者のみならず、住民や消費者も含めた視点が重要となっており、朝市の開催や販売所の設置検討など、さまざまな消費者との交流機会を設けることで、農業に対する住民や消費者の理解を促進するとともに、地域で生産された農産物の地域での消費拡大のための地産地消を促進します。

**5 働きやすい労働環境の整備**

(1) 多様な能力開発機会の提供と就業機会の創出

就業を希望する人々と人材を求める企業に対して情報提供などによる就業・雇用機会の充実に努めます。さらに高齢者や障害者などの就業機会の充実に努めます。

(2) 快適な労働環境の整備

女性の社会進出や情報技術の革新、高齢化社会の到来など労働環境が多様化するなかで、勤労者一人ひとりがいきいきと働き、その能力を十分に発揮できる労働条件や職場環境整備など、安心して働ける労働環境の整備促進を図ります。

■主な実施事業

事業名称	事業内容
企業誘致推進事業	経済の新たな活力を生み出すため、町内に優良企業の誘致を行い、産業集積と経済基盤の安定化を進めます。
産業用地活用計画推進事業	旧唐院小学校の跡地及び唐院工業団地周辺の産業用地としての活用を図るための基礎調査などを行うとともに、企業誘致のための周辺整備のあり方を検討します。
多様な担い手育成事業	次代の農業を担う認定農業者、新規就農者、農業法人などの多様な担い手の育成を進めます。
土づくり推進対策事業	土づくりを一体的に進めることで、良質堆肥の普及推進、化学肥料や農薬の低減、自然循環システムの確立を図ります。また、エコファーマーの育成を進めます。
特産農作物づくり事業	農産物（結崎ネブカなど）のブランド化や高付加価値化、産地づくりを推進します。



## 2 人と情報が行き交うにぎわいのあるまちづくり

### ◆現状と課題

○地域商業においては、商業機能などの空洞化が進み、その活性化が大きな課題となっています。本町でも結崎地区の商業求心力の縮小、周辺市町への郊外型商業施設の進出、道路沿線への出店などの立地環境の変化、インターネットなどを利用した商品の購買などの消費動向の変化のなかで、商業地域に人々を呼び込む工夫が必要です。

○このような状況の中、これからの中心地域には、商業や金融、医療などの個別機能の単なる集積だけではなく、広域から人々が集い、行き交い、にぎわいや出会いがあり、良質な刺激を受ける多様で密度の濃い空間が必要となっています。

また本町が持つ自然、歴史、文化を活用した人々の集い、にぎわいを集積する機能を充実させる必要があります。

○特に本町の広域求心力を高めるためには、まちのなかに交流や余暇活動の場など多様な人々が楽しみ、活動できる交流基盤の整備を進めていく必要があります。

### ◆共にめざす目標

○広域の人々のさまざまなニーズに対応し、交流や活動の場にふさわしい交流空間の整備を進めるとともに、そこでの人々の活発な活動を通して新たな情報が発信される、人と情報が行き交う、にぎわいのあるまちづくりを進めます。そのため、にぎわいと新たな文化や豊かな生活を創り出す、本町商業の振興を積極的に図ります。

○特に中心部商業については、身近さ・親しみやすさ、専門性などの魅力の充実に加え、活動や交流などの空間整備を進めるとともに、事業者、住民活動団体、行政などの連携の下、多彩なイベント、活動、刺激を演出して広域的なにぎわい空間の創出を図ります。

○中心市街地を、さまざまな人々が暮らし、活動・交流し、楽しむ都市的生活の場として、美しいまち並み、バリアフリーの公園などの整備を進め、街を楽しめるさまざまなサービス機能の再構築に努めます。

## ◆施策

### 1 にぎわいと豊かな生活文化の創出

#### (1) 商業の活性化

中心部商業については、商業基盤整備促進を行うとともに、地場産品などを紹介する商工祭等のイベントを支援し、地域商業の活性化を図ります。

#### (2) 地域に根ざした商業の活性化

長年地域に密着してきた利点を活かして、地域の交流の場としてもさまざまな地域生活を支援する地域商業の振興を図ります。

また、消費者講座やモニター制度などによる消費者の意識啓発を図るとともに、消費生活に関する情報の収集・提供や消費者相談等による消費者保護を推進します。

### 2 人が集い楽しむ場と機能の整備

#### (1) 中心市街地の再整備

中核的な田園文化都市機能の充実強化を図るために中心市街地の再整備を進めます。特に、近鉄結崎駅周辺の核となる中心部商業地域の再開発事業などによる再整備や、同駅周辺の整備を図り、住民が快適に暮らし活動できる都市整備に努めます。

#### (2) 多様なにぎわい空間の創出

川西町中心市街地活性化基本計画の策定を検討するとともに、環境整備、都心部の空き地を活かした交流広場などの小規模公園施設整備等、市街地における多様なにぎわい空間の整備を進めます。

(3) 個性を活かした交流活動の振興

ゲートボール大会など多様なスポーツイベント開催によりスポーツ交流を振興するとともに、学会などの多彩な交流・会議などの誘致を図ります。

(4) 魅力ある観光地づくり

水と豊かな緑などの自然環境、神社や仏閣などの歴史的資源を紹介する観光ボランティアの育成、本町固有の観光資源を活用して、観光ルートや案内板などの整備、観光施設の整備拡充などを進め、魅力ある観光地づくりを進めます。

また、奈良県が推奨する古墳をテーマにしたウォーキングルート（田原本町から三宅町を経て本町までの区間としています。）などのPRに努め、積極的な観光客の招致を図ります。

<b>3 地域交流（全国川西会議など）の発展と国際性豊かなまちの実現</b>
--

(1) 住民主体の地域交流の発展と国際化推進

友好都市である兵庫県川西市、新潟県十日町市川西地区や山形県東置賜郡川西町との交流を継続・発展させていくとともに、住民の国際化や在住外国人への支援、NPOやボランティア活動支援、国際交流事業などによって住民が主体となった民間レベルでの国際化を推進します。

(2) 国際化のための基盤整備

案内板などの外国語表示、ガイドブック作成や生活情報の提供など国際化に対応したまちづくりに努めます。

■主な実施事業

事業名称	事業内容
中心市街地再整備事業	市街地再整備事業を推進し、都市の魅力づくりと拠点都市機能の向上を図ります。
近鉄結崎駅周辺整備事業	本町の玄関口である近鉄結崎駅周辺における商業や文化、情報の拠点としての魅力を高めるとともに、災害に強い快適な生活環境と賑わいのある市街地整備をめざします。
中心部商業活性化事業	都心部の活性化イベントへの支援、商業基盤整備への支援を行い、中心部の商業の活性化を図ります。
消費者行政の推進事業	国が実施する事業である国民生活の実態調査について、全国及び地域別に世帯の消費・所得・資産に係る水準、構造、分布などを明らかにすることを目的とした調査を行います。

### 3 広域交流の役割が果たせるまちづくり

#### ◆現状と課題

○天理市、大和郡山市、磯城郡三宅町、生駒郡安堵町、北葛城郡河合町に境界を有する本町は自然と歴史文化のある豊かな田園都市として、広域的な就業の場、商業・娯楽・文化などとともに医療・福祉・教育・行政サービス拠点としての役割が期待されています。

このため、山辺広域行政圏の中核的な人間都市としての役割が果たせるよう充実した都市機能の構築が求められています。

○交通機能については、京奈和自動車道及び大和中央道の道路整備や、西名阪自動車道のスマートインターチェンジ整備により交通の利便性向上が見込まれています。また鉄道については、急行停車への条件整備を進め、公共交通機関の利用による交通政策の多様化を推し進めることが求められています。

○パソコン・携帯電話・インターネットの普及により、時間や距離の制約を超えて、交流や情報提供が可能となり、私たちの生活様式は大きく変化しています。自治体においても、そういったICT（情報通信技術）を活用し、行政区域を越えた取り組みによる行政サービスの向上や行政事務の効率化、高度化が求められているとともに、住民が情報化社会の恩恵を享受できる取り組みが求められています。

◆道路状況（平成23年3月31日現在）

	路線数	実延長 (m)	改良延長 (m)	改良率 (%)	舗装延長 (m)	舗装率 (%)	橋梁数	橋梁延長 (m)
1 級	4	5,454	4,573	83.8%	5,443	99.8%	4	130
2 級	8	6,711	3,050	45.4%	6,711	100.0%	10	74
その他	331	59,126	23,700	40.1%	55,970	94.7%	52	617

### ◆共にめざす目標

○時代潮流などの長期的な展望を見据えて、周辺地域からの期待に応えるとともに、山辺広域行政圏の広域交流拠点都市としての役割が果たせるまちづくりを進めるため、商業や娯楽、文化、教育、医療や福祉などの広域拠点機能の整備・拡充を図ります。

○また、本町の広域拠点機能を強化するため、多様な魅力を備えた新市街地の整備に努めます。

○都市発展の基礎となる交通機能については、広域から本町への安全で円滑な移動、地域内での安全で円滑な移動が可能となるように、町内道路整備を図ります。そのため幹線道路ネットワークの整備を進める一方で、公共交通の利便性の向上を図ります。

○県や県内自治体、その他行政機関との連携も含め、総合的な情報化施策の展開を図るとともにすべての住民が広く情報化社会の恩恵を享受できることをめざします。

○高齢化の進行や難病が増加傾向にあるなかで、磯城郡内に国保中央病院や奈良県総合リハビリテーションセンターなどの施設があることから、これらの高度医療情報ネットワークの構築やさらなる高度医療技術の研究開発機能の集積を図り、広域高度医療サービス機能と高度医療研究開発拠点機能が複合化した高度医療都市の実現をめざします。

### ◆施策

#### 1 中核的な都市機能の充実強化

##### (1) 広域的視点を踏まえた都市計画の推進

都市の動向や基礎調査を踏まえた計画的で調和のとれた土地利用を図るために、非住居系を中心に用途地域の見直しを行うとともに、線引きなどの定期的な見直しを行います。

また、都市施設の決定や都市計画の見直しにあたっては、広域的な視点を踏まえます。

(2) 新たな広域拠点地区の整備

商業・娯楽・居住などの多様な機能を備えた複合的な都市空間の形成をめざし、鉄道や道路網と一体となった住・遊のバランスのとれた新たな広域拠点地区の整備を図ります。

**2 総合的な交通体系の確立**

(1) 総合的な交通施策の充実

本町の都市機能がより機能的で有効に発揮できるように、公共交通機関の利用促進、鉄道の機能強化や地域内交通システムなどの検討、更には自動車交通の適正化、バリアフリー化の促進などの総合的な交通施策を展開します。

(2) 広域公共交通体系の整備

近鉄結崎駅付近再整備事業の検討・推進、急行停車駅計画などによる利便性の向上や機能強化などの整備を図ります。

(3) 広域幹線道路ネットワークの整備

広域幹線道路の整備については、高規格道路の京奈和自動車道路への連絡道路など、広域道路網の整備を促進します。

**3 高度情報通信基盤の整備**

(1) 川西町地域（行政）情報化計画の策定

21世紀の高度情報化・高速通信社会を展望した地域（行政）情報化計画を策定し、その推進を図ります。

(2) ホームページの活用

インターネットの双方向性を活かし、ホームページ上での行政情報や行政サービスの提供に加え、行政と住民間との情報交流、情報共有の推進に努めます。また、高齢者、障害者等も含めて、誰もが必要な情報や行政サービスを支障なく利用できるよう、ホームページでのアクセシビリティの向上に努めます。

(3) 電子自治体の推進

奈良県電子自治体推進協議会で運営しているシステムを活用し、住民が自宅に居ながら申請・届出、施設予約、各種申し込みなど行政サービスを受けることのできるサービスの拡充に努めます。

**4 高度医療地域に向けての連携**

(1) 高次元医療サービス機能の充実

先端的医療研究機能を有するとともに、奈良の医療拠点としての役割を果たす、整形・脳・心臓外科等での全国トップレベルを誇る奈良県立医科大学及び同大学付属病院、身体機能回復訓練で知名度を有する奈良県総合リハビリテーションセンター、国保中央病院などの集積する地域特性を活かした、高度医療情報ネットワークの整備を促進し、広域医療サービス機能の充実強化に努めます。

(2) 高度医療・福祉研究開発機能の集積促進

医療機関などの集積という地域特性を活かし、医療福祉分野における高度医療・福祉研究開発機能の拠点化を図り、高度医療都市の実現をめざします。

**5 川西の魅力をもつ人材ネットワークの充実**

(1) 人材ネットワークの充実

役場を拠点として、幅広い分野において活躍している本町ゆかりの人々との人材ネットワークを充実し、文化・学術・経済情報などの収集活用を図るとともに、地域情報を提供し、本町の重要施策実現に向けて多様な連携を進めます。



## 6 地域間交流と連携の推進

### (1) 山辺広域行政圏内の交流・連携推進

本町を中核的な文化田園・人間都市として生活圏を同じくする山辺広域行政圏については、山辺広域行政事務組合と密接な連携を図りながら、圏域の市町村との交流や連携を深め、圏域の中核的な文化田園・人間都市としての役割を果たします。

### (2) 大和川流域連携の推進

流域市町村で組織された協議会への活動支援を通して、大和川流域住民相互の連携交流を促進します。

### (3) 広域都市交流の推進

交流都市の兵庫県川西市、新潟県十日町市川西地区や山形県東置賜郡川西町などとの交流推進をはじめとして、広域都市間の交流を推進します。

#### ■主な実施事業

事業名称	事業内容
結崎駅機能整備促進事業	本町の玄関口である近鉄結崎駅の利便性とバリアフリー化等、駅機能の整備促進のために関係機関への働きかけを行い、利用者にとって快適で安全な川西町の玄関口駅をめざします。
総合交通ネットワーク事業	公共交通機関の利便性向上やバリアフリー化を図り、利用を促進するとともに、自動車交通の適正化などを進め、定時性安全性の高い総合的な交通環境の形成を図ります。
周辺道路整備事業	都市の骨格となる京奈和自動車道とその周辺道路とのネットワークの改善を図ります。

